

学校評価アンケート結果まとめ<令和6年度・第2回実施分>

◎生徒への質問

	質問内容
1	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができた。
2	授業では、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。
3	授業でiタブを活用し、自分の考えをまとめたり、表現したりすることができた。
4	自分は、家で自分で計画を立てて勉強している。
5	自分は、学校の授業以外で、普段（月曜日から金曜日）1日あたり30分以上読書している。
6	自分は、来校者に対して自分からあいさつしている。
7	学校・学年・学級はいじめの未然防止を行っている。
8	道徳の授業では、人間の在り方や人生をよりよく生きることなどについて考えを深めている。
9	自分は、行事に積極的に取り組んでいる。
10	自分は、学校や地域をよくするために何かしてみたいと思う。
11	自分は、学校生活の約束事を守っている。
12	自分は、給食等を通して健康的な食生活や栄養について関心が高まっている。
13	自分の学級では、学級生活をよりよくするために、互いの意見の良さを生かして解決方法を考えている。
14	自分は、家庭でのインターネット閲覧や、SNS等に費やす時間は、1日あたり3時間以内である。
15	自分は、進路について考えている。
16	学校は、アルカス活動やボランティア活動が行われ、地域に貢献している。
17	自分は、災害時の対応を考えている。

◎保護者への質問

	質問内容
1	生徒は、学校生活に楽しみややりがいを持っている。
2	生徒は、授業などでiタブ（1人1台端末）等のICT機器を活用している。
3	生徒は、自ら学習に取り組んでいる。
4	生徒は、授業に複数の先生がいることで、質問しやすくなっている。
5	生徒は、あいさつや礼儀をきちんとしている。
6	生徒は、福祉教育活動（花植え作業や除草作業、奉仕活動等）に進んで取り組んでいる。
7	生徒は、行事において達成感や自己有用感を高めることができている。
8	学校は、生徒に悩みがあったとき、問題が起きたときに相談しやすい。
9	学校は、いじめの未然防止の取り組みを行い、いじめが発生したときは速やかに対応している。
10	学校は、当たり前のことが当たり前できるように、生徒指導を行っている。
11	学校は、学級での話し合いや係活動の活性化を図り、生徒間の望ましい人間関係の育成に努めている。
12	学校は、学校給食を基本とした食育を推進し、食の大切さを理解させている。
13	学校は、計画的に進路指導を行っている。
14	学校は、防災教育を推進し、生徒の防災意識の向上を図っている。

※回答は「そう思う」「おおよそそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択式。

本集計では便宜上、「そう思う」→「肯定的」

「おおよそそう思う」→「やや肯定的」

「あまりそう思わない」→「やや要改善」

「そう思わない」→「要改善」

と表記する。

生徒回答合計（154）名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	35.7%	55.2%	8.4%	0.6%
Q2	39.0%	50.0%	9.7%	1.3%
Q3	48.1%	45.5%	5.2%	1.3%
Q4	22.7%	31.8%	27.9%	17.5%
Q5	13.6%	13.6%	20.1%	52.6%
Q6	36.4%	34.4%	22.1%	7.1%
Q7	26.0%	52.6%	15.6%	5.8%
Q8	38.3%	51.9%	7.1%	2.6%
Q9	44.2%	38.3%	14.3%	3.2%
Q10	24.0%	44.8%	22.7%	8.4%
Q11	42.2%	50.6%	4.5%	2.6%
Q12	38.3%	42.9%	16.2%	2.6%
Q13	30.5%	48.1%	16.9%	4.5%
Q14	26.6%	23.4%	24.7%	25.3%
Q15	42.2%	27.3%	15.6%	14.9%
Q16	35.1%	40.3%	17.5%	7.1%
Q17	31.2%	36.4%	22.7%	9.7%

生徒アンケート結果より

質問項目ごとの「肯定的傾向」（肯定的・やや肯定的）の割合が合計して70～80%に達している項目が多数を占めることから、生徒の学校生活に対する満足度の高さが感じられます。特に、質問項目1～3において数値が高いことから、授業における教師側の意図を十分に理解して授業に取り組んでいることがわかります。一方で、6月の第1回アンケートに引き続き、【計画的な家庭学習】【読書の習慣】【インターネットやSNSに費やす時間】の3つの質問項目において「肯定的傾向」が60%以下という結果も見られました。これらの点を踏まえ、今後の改善に向けて以下のことについて取り組んで参ります。

○生徒の学習に対する自主性の向上を図る取り組み

質問項目4において、生徒が家庭で主体的に学習に取り組んだり、自身の課題を克服するために計画的な学習をすることにへの評価が低いことがわかります。学校は、生徒の興味・関心を高め、更に追究しようとする姿勢を育むために学びの見通しを示す取組を継続してきましたが、生徒が目標に向かって自発的に学びに取り組むような授業改善だけでなく、学習の仕方の指導についても努めていきます。

○読書に親しむ習慣の定着に向けて

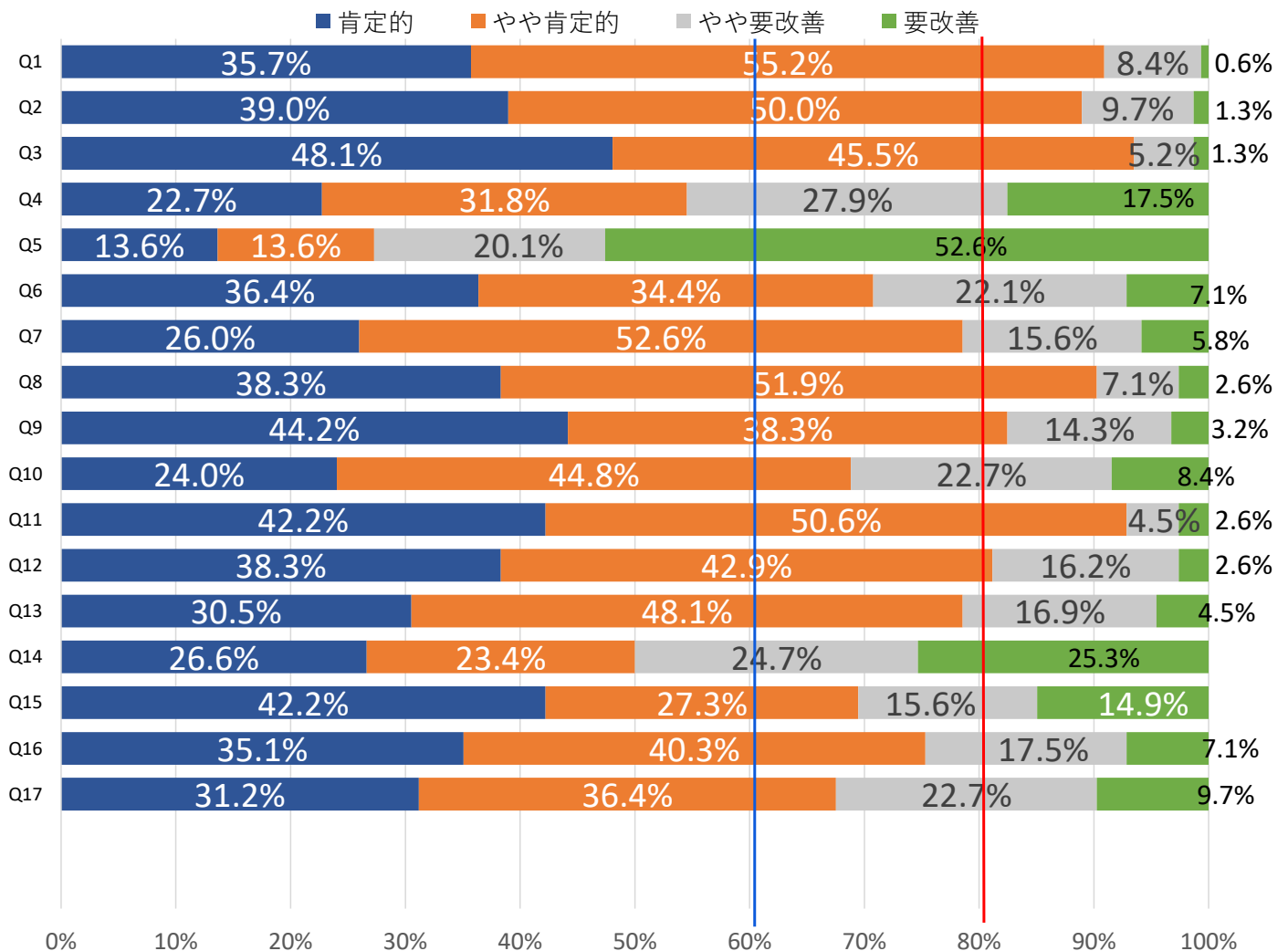
質問項目5において読書習慣が定着しておらず、本に対する興味が薄いことがわかります。朝の読書活動や図書館司書による魅力的な図書館経営、図書委員会による読書週間の取組を継続していきます。

○1日あたりのインターネット閲覧・SNS使用時間についての課題

質問項目14において、1日の閲覧・使用時間が長いことがわかります。学びのツールとしての使用時間も必要ですが、学校と家庭が連携したルールの確認も必要と感じています。また、上記2項目とも関係が深く、家庭学習の時間を増やすことや、読書の習慣の定着を図ることと併せて改善策を講じる必要性を感じています。

学校評価アンケート結果（対象：全学年生徒）

項目別回答割合



保護者回答合計（84）名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	17.0%	50.0%	25.0%	8.0%
Q2	48.8%	45.2%	6.0%	0.0%
Q3	17.0%	36.4%	33.0%	13.6%
Q4	13.8%	40.2%	31.0%	14.9%
Q5	29.1%	48.8%	18.6%	3.5%
Q6	16.1%	43.7%	29.9%	10.3%
Q7	25.6%	43.0%	25.6%	5.8%
Q8	15.9%	43.2%	23.9%	17.0%
Q9	19.3%	50.6%	21.7%	8.4%
Q10	40.9%	46.6%	5.7%	6.8%
Q11	25.9%	41.2%	28.2%	4.7%
Q12	42.4%	48.2%	5.9%	3.5%
Q13	25.9%	41.2%	28.2%	4.7%
Q14	29.1%	53.5%	15.1%	2.3%

保護者アンケート結果より

4つの質問項目で「肯定的傾向」（肯定的・やや肯定的）の割合が合計して80%、5つの項目で60%に達していたことから、学校の多くの側面で保護者の皆様から肯定的な評価を得ていることが分かります。また、4つの質問項目において「肯定的傾向」が60%以下という結果も見られました。これらの点を踏まえ、今後の改善に向けて以下のことについて取り組んで参ります。

○生徒の自主的な学習意欲の向上を図る取り組み

質問項目3において、生徒が家庭で主体的に学習に取り組んだり、自身の課題を克服するために計画的な学習をしたりすることへの評価が低いことが分かります。学校は、生徒が目標を持って自発的に学びに取り組み、その意欲を促す授業ができるよう、授業改善に今後も継続して努めていきます。

○コミュニケーションと協力体制の強化

質問項目4や8において、生徒と教師、保護者と学校間の、困ったときの相談のしやすさなどコミュニケーションに対する評価が低いことが分かります。学校は、対話の機会を増やすことで生徒にとってより話しやすい身近な存在となるよう、継続して努力を重ねていきます。また、日常の連絡やPTA行事等を通して保護者の皆様との信頼関係の構築に努めて参ります。

学校は肯定的な評価を受けている項目もありますが、改善が必要な点も明らかになっており、これらの改善点に対する取り組みを通じて、学校教育の更なる充実に向け、保護者の皆様とのコミュニケーションを深め、質の高い教育環境を提供し教育内容を充実するよう取り組んでいきます。特に、生徒アンケートで明らかになっている学習習慣の確立や、生徒のインターネット閲覧・SNS使用時間の削減といった課題について、保護者の皆様と共通理解を持って取り組んでいきたいと考えています。

学校評価アンケート結果（対象：全学年保護者）

項目別回答割合

■ 肯定的 ■ やや肯定的 ■ やや要改善 ■ 要改善

